

令和7年度(2025年度)第2回 健康すいた21推進懇談会 議事要旨

開催日時	令和8年(2026年)2月9日(月)午後2時から午後4時まで
開催場所	吹田市保健所2階 講堂
出席者	岡本 玲子委員長、中村 清美副委員長、中埜 秀史委員、三田 康子委員、谷 将行委員、木沢 多永子委員、エッカスリー忍委員、山本 雅子委員、吉田 和真委員、永田 庸子委員、瀧澤 廣成委員、井上 浩委員(以上12名)
欠席者	新居延 高宏委員、栗田 智代委員、山本 保治委員
傍聴人	1名
議題	(1) 大阪府地域・職域連携推進の取組【大阪府】 (2) 健康に関する市民意識アンケート調査結果 (3) 健康すいた21(第4次)の骨子案
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 地域・職域が連携して支える健康 ・資料2 健康に関する市民意識アンケート調査結果の概要 ・資料3 健康すいた21(第4次)骨子案 ・参考資料1 吹田市健康に関する市民意識アンケート調査報告書(単純集計)(案) ・参考資料2 健康すいた21推進懇談会設置要領 ・参考資料3 健康すいた21推進懇談会委員名簿

発言概要

(開会)

(1) 大阪府地域・職域連携推進の取組【大阪府】

【資料1について大阪府から説明】

●委員

資料1の20ページに掲載されている標準化死亡比について、数値が100を下回れば良好とのことですが、この数値はどのように算出されているのでしょうか。

○事務局

標準化死亡比とは、単純な死亡率ではなく、高齢化の影響等を取り除いて、他の地域と比較できるようにした指標です。全国の平均的なデータを基に、吹田市の人口構成に当てはめて、亡くなる予測値を計算しています。全国平均を100とするため、数値が100以下であれば死亡率が全国より低いことを示しています。

●委員

吹田市は全て100を下回っていますが、これは資料に記載されている死因以外で亡くなる方が多いということでしょうか。

○事務局

老衰や不慮の事故など、資料に掲載されていない他の死因も含めて精査しなければ断定はできません。

●委員長

地域健康カルテで示された胃がん検診の受診率の低さ、高齢女性の糖尿病未治療者の多さ、睡眠不足といった課題について、「健康に関する市民意識アンケート調査」の結果等も踏まえ、原因を推測し、対策を検討していく必要があります。

(2) 健康に関する市民意識アンケート調査結果

【資料2について事務局から説明】

●委員

分野5「歯と口腔の健康」で歯科健診を受けていない方が29.4%、分野8「診てもらう」で健康診断を受けていない方が23.2%いらっしゃいます。歯科健診を受けていない方と健康診断を受けていない方の間に、相関関係はあるのでしょうか。

○事務局

現時点で詳細な分析に至っていませんが、歯科健診を受けていない方は、他の健診も受けていない傾向が高いということは見受けられます。歯科健診は、比較的健康への関心が高くない層も受診しています。また、健康意識が高くない人も、フロスを使用するといった健康行動をとっている傾向がみられます。

●委員長

相関を見たほうがよい項目について、他にご意見はありますでしょうか。私は、地域健康カルテに関連して、睡眠などの生活習慣に関する項目と、身体面・精神面・社会面の健康状態とのクロス集計を実施していただきたいと考えています。

●委員

本調査結果では、自治体の歯科健診の受診率は5.9%とのことでした。数年前、吹田市歯科健康診査の対象者を15歳以上に拡大しましたが、15歳～29歳における受診率は、令和5年度4.7%（約4万7,000人）、令和6年度約4%（約4万8,000人）であり、特に若い世代の受診率が低いことが伺えます。本調査の対象は18歳以上ですが、大学生や就職直後など、ライフスタイルの変化によって受診状況も変化すると考えられるため、世代別の詳細な分析も検討してはどうでしょうか。

●委員長

ターゲットを絞った働きかけを行うため、受診率の低い年代を特定するためのクロス分析は重要です。

●副委員長

個人の健康意識と、実際の健康行動との関連性を分析することは可能でしょうか。

○事務局

今回の調査では、「意識」と「行動」に関する質問の両方を設定しています。それらを掛け合わせて、個人の意識だけでなく、行動を後押ししている環境面からの働きかけについても考察したいと考えています。

●委員長

特に注視して分析する予定のものがあれば教えてください。

○事務局

健康寿命の延伸に加え、生活の質の向上も重視したいと考え、身体面・精神面・社会面の3つの視点から健康状態を把握し、各生活習慣との関連性を分析する予定です。

●委員長

吹田市の標準化死亡比は全国平均を下回っており良好ですが、今回の調査結果では、主観的健康観が低い層が一定数確認されています。その方々の属性を詳しく分析し、具体的な働きかけを検討する必要があります。

また、地域毎の傾向を把握するに当たって、今の6ブロックではデータ数に偏りがある場合、分析に必要なサンプル数を確保するため、必要に応じてブロックを統合する等、適切な対応をお願いいたします。

なお、前回調査より回収率が向上している点は、事務局の努力の成果だと感じています。

(3) 健康すいた21（第4次）の骨子案

【資料3について事務局から説明】

●委員

「くらしにとけこむ健康づくり」を市民一人ひとりが常に意識して行動に移すことが、本計画の目的を果たす上で最も大切なことと考えています。計画内容についても十分に理解しました。

●委員

第4次計画案は第3次計画の内容を踏まえ、更に進んだよい計画になっていると感じます。新たに「こころの健康」がキーワードとして盛り込まれています。退職原因の大半がこころの病気といわれる現状を鑑みると、社会問題として重要な課題となっていることから、非常によい視点だと思います。

「健康を支える社会環境」に関しては、行政主導でなく、個人が自然と健康づくりが行えるような環境にな

ることが理想の形であり、究極の目標であると考えます。簡単なことではありませんが、着実に実行していたければと思います。

●委員長

計画の骨組みや中心となる考え方について、ご賛同いただけたかと思います。次年度は第3次計画の最終評価を実施するほか、第4次計画の数値目標などの詳細を検討していくことになります。引き続き、よろしくお願いいたします。

(3) 委員挨拶

○委員

若い世代の歯科受診率は、歯科医師会としても課題に感じています。歯と口腔の健康に対する意識向上に取り組んでいきたいと思っています。

○委員

本調査で「家庭内で受動喫煙の機会がある」と回答した方が一定数おられることに驚きました。家庭環境の改善は重要なことから、今後もその重要性を伝えていきたいです。

また、子供たちの一番の相談相手が家族であるという結果には安心しました。適切な相談先がないことがオーバードーズ等の問題につながるため、学校の先生とも連携しながら取り組んでいきたいです。

○委員

健康診断の未受診は課題として認識しないといけないと思いました。特にフリーランスや小規模事業者の方は受診していな方も多いため、何か支援ができればよいのかなと思います。健康診断と歯科健診をセットにするといった仕組みができればよいと思っています。また、特定健診を商工会議所でも実施できないか検討しましたが、レントゲン車を駐車場に置けないため、何か方法がないか検討しています。よい案があれば、教えていただければありがたいです。

○委員

食べるまでの準備が大切だということを再認識しました。歯と口腔、運動等様々な分野が食べるには関係しています。食べることは一生続くことなので、健康に食べることの大切さを一人ひとりの状況に合わせて伝えていきたいと考えています。

○委員

アンケート調査の結果が興味深かったです。特に「20時30分までに就寝している子供」が非常に少ないこと、「ジュースや菓子パンを毎日摂取している子供」が一定数おられるという結果にライフスタイルや意識の変化を感じました。子供を取り巻く環境の変化を実感するよい機会となりました。

○委員

無関心層へどうアプローチしていくのがよいか悩んでいます。専門団体と連携した大規模イベントだけでなく、ターゲットを絞ったアプローチが重要だと感じています。例えば「冷え」や「ピラティス」をテーマとした講座を実施すると、普段は参加しない20歳代～50歳代の方も申し

込まれてすぐに定員が埋まります。ネーミング一つで届く層が変わることを実感しています。

また、地域で講座を実施していますが、地区ごとに参加数が異なります。地域ごとのクロス分析を行い、それぞれの地域特性に合わせた細かなアプローチができればよいと思いますし、事業団の役割にも生かしていきたいです。

○委員

アンケート調査の結果や健診結果を参考に事業を進めることも重要ですが、普段事業を実施していると、どれだけ働きかけても反応を示されない方もいます。健康意識の高い方々だけでなく、そうした方々にも焦点を当てて事業を推進していただければと思います。

○委員

職域における健康格差は大きな課題です。特に、小規模事業所の中には健診を実施していない事業所もあるため、健診を受けないまま退職し、健康状態が良くない状態で地域に戻られる方もおられるのではないかと推察します。こうした方々に今後どう対応していくのか、職域と地域の連携が求められるかと思えます。「吹田市に住んでいれば自然と健康になれる」ような社会環境づくりのさらなる促進に向けても、就労世代に目を向け、地域と職域の連携をさらなる検討を進めていくことを期待します。

○委員

基本目標の「健康寿命の延伸」や「生活の質（QOL）の向上」は、市民の方にも認識されている言葉だと思います。私個人の考えですが、目標達成に向け、マスメディアを有効に活用し、正しい健康情報を広く周知していくことが重要だと思います。

また、この懇談会で学んだことを今後の生活に生かしたいです。

○委員

自身の健康意識が非常に高まりました。この懇談会で得た情報を活用し、地域や職場の方々を巻き込んで「私の周りにいけば健康になれる」と言えるよう健康づくりに励みたいと思います。

○副委員長

本懇談会は各団体の皆様が意見を活発に出してくださる非常に素晴らしい場だと感じています。第4次計画が更により計画となるよう、今後も一緒に取り組ませていただければと思います。

●委員長

皆様の活発なご意見のおかげで、非常に意義のある会議を重ねることができました。委員の皆様を事務局が真摯に受け止め、それを計画に反映させていくという「双方向のやり取り」が確立されていたことが、本懇談会の強みであったと感じています。吹田市の健康づくりが更に発展することを願っております。

●事務局

委員の皆様には貴重なご意見をいただき、心より感謝申し上げます。来年度は第3次計画の評価と第4次計画の策定という重要な局面を迎えます。引き続き、皆様の所属団体との連携を密にし、健康という大きなテーマに取り組んでまいります。

(閉会)